

令和 8 年度

大学院薬学研究科(博士前期課程)入学試験問題

専 門 科 目

『 医薬品化学特論 』

令 和 8 年 2 月 21 日

受 験 番 号	氏 名

受験番号		氏名	
------	--	----	--

令和8年度 大学院薬学研究科 入学試験問題（博士前期課程）【専門科目】

I 以下1～6の反応について、矢印上に適切な試薬を記せ。

入学試験の公平性の維持と効率化を目的として、あらかじめ問題を蓄積して活用し、複数回の入学試験を実施することがあるため、試験問題並びに解答は公開していません。

II 以下の反応で得られる主生成物の構造を四角内に示せ。

1			2	
3	入学試験の公平性の維持と効率化を目的として、あらかじめ問題を蓄積して活用し、複数回の入学試験を実施することがあるため、試験問題並びに解答は公開していません。		4	入学試験の公平性の維持と効率化を目的として、あらかじめ問題を蓄積して活用し、複数回の入学試験を実施することがあるため、試験問題並びに解答は公開していません。
5			6	

7	
8	

9

10

入学試験の公平性の維持と効率化を目的として、
あらかじめ問題を蓄積して活用し、複数回の入学試験を実施する
ことがあるため、試験問題並びに解答は公開していません。

III 以下 1～3 の反応について、生成物が得られる反応機構を詳しく記せ。3 については生成物の構造も示せ。

1

入学試験の公平性の維持と効率化を目的として、
あらかじめ問題を蓄積して活用し、
複数回の入学試験を実施することがあるため、
試験問題並びに解答は公開していません。

2

入学試験の公平性の維持と効率化を目的として、
あらかじめ問題を蓄積して活用し、
複数回の入学試験を実施することがあるため、
試験問題並びに解答は公開していません。

3

入学試験の公平性の維持と効率化を目的として、
あらかじめ問題を蓄積して活用し、
複数回の入学試験を実施することがあるため、
試験問題並びに解答は公開していません。

IV 以下の化合物の合成において、

(1) 化合物 A および F の構造式を示せ。

(2) 試薬 B~E、G で用いる試薬を示せ。

入学試験の公平性の維持と効率化を目的として、あらかじめ問題を蓄積して活用し、複数回の入学試験を実施することがあるため、試験問題並びに解答は公開していません。

A	F
----------	----------

B	C	D
E	G	

(Shuwen, H. et al., *Tetrahedron Lett.*, **2016**, 57, 1268.より引用)

出題意図

医薬品化学特論では、研究の遂行に有機反応化学を中心とした知識が必要である。その習得状況を確認するため、今回の問題を出題した。

問 IV に関しては、Shuwen, H. et al., *Tetrahedron Lett.*, **2016**, 57, 1268 を引用して出題した。